

SAGA 2024 国スポ 関東ブロック大会 結果

成年種別



成年男子が激戦を制し、3位で本大会出場へ！ 成年女子は惜しくも敗退

SAGA 2024 国スポ 関東ブロック大会 結果

少年種別



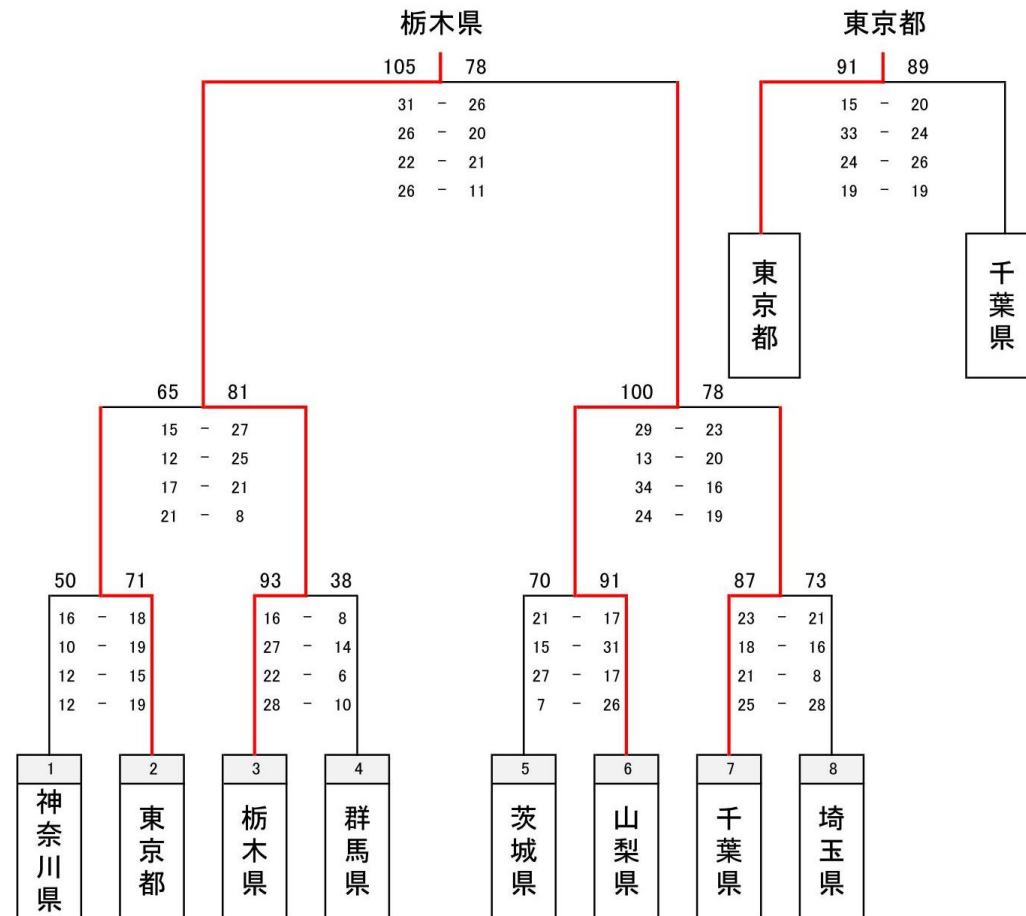
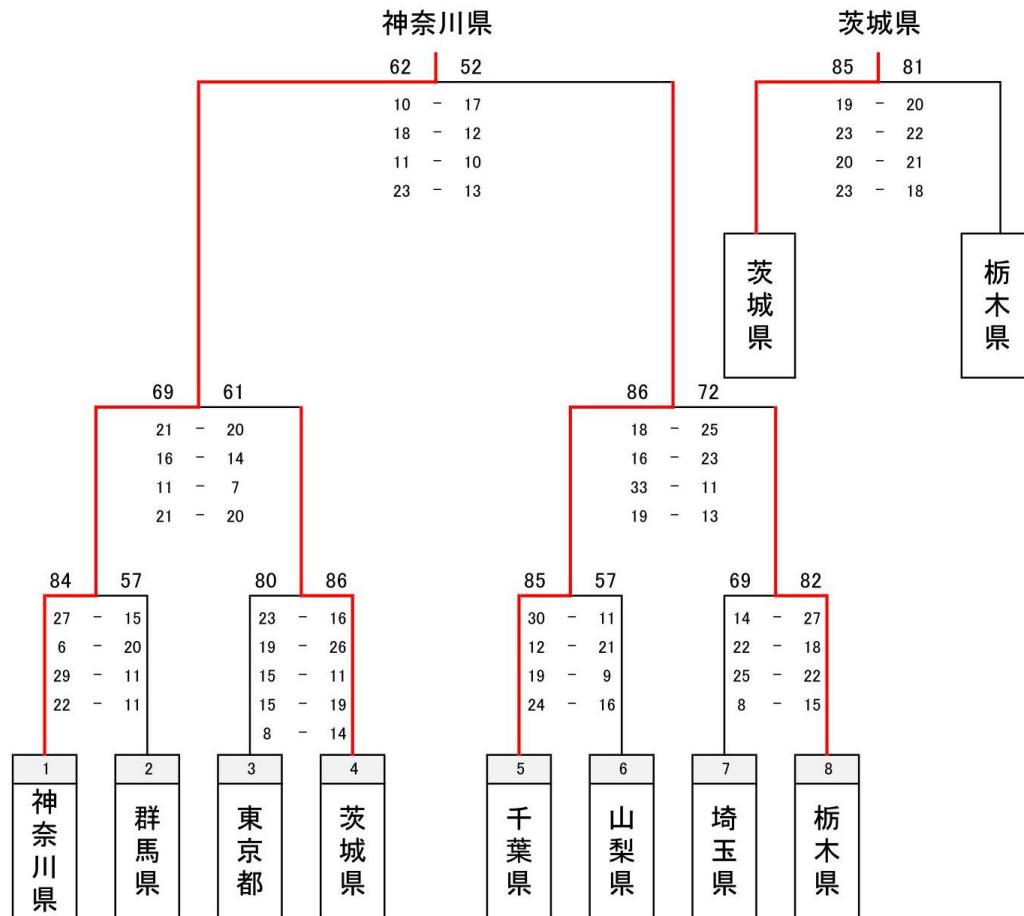
少年男子が関東3連覇！本大会3連覇に挑戦！ 少年女子は3位で本大会出場！

第78回国民スポーツ大会関東ブロック大会 バasketボール競技

第78回国民スポーツ大会SAGA2024 出場決定県



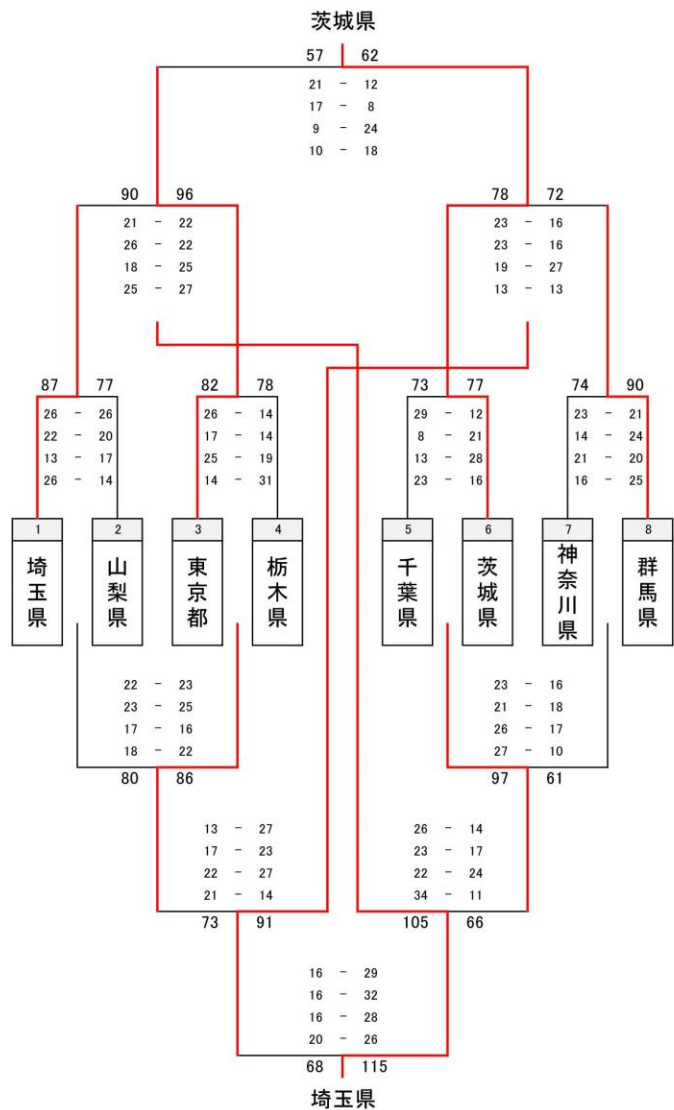
第78回国民スポーツ大会SAGA2024 出場決定県



第78回国民スポーツ大会関東ブロック大会 バasketボール競技

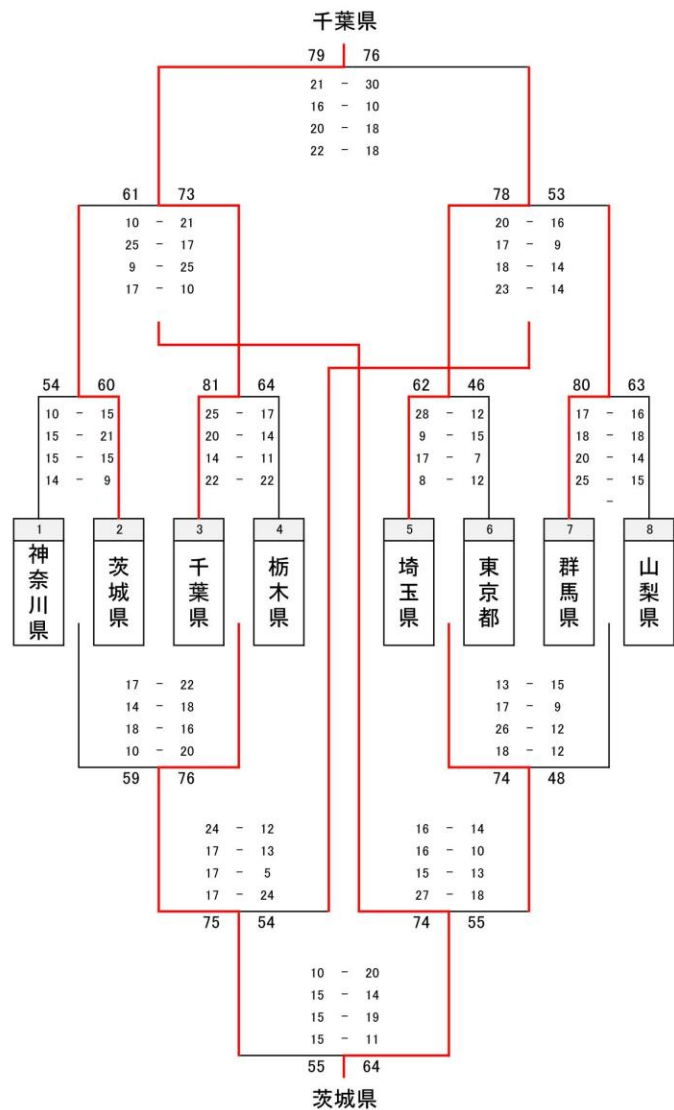
第78回国民スポーツ大会SAGA2024 出場決定県

少年男子 茨城県 東京都 埼玉県



第78回国民スポーツ大会SAGA2024 出場決定県

少年女子 千葉県 埼玉県 茨城県



少年男子関東3連覇！

成年男子、少年女子も3位で本大会出場！

SAGA 2024 国スポ 関東ブロック予選 結果報告

「SAGA 2024 国スポ 関東ブロック予選」が、8月24日（土）25日（日）に富士吉田市で開催され、成年種別、少年種別（U16）の男女が関東8都県での激闘に臨みました。

この大会に参加している選手、スタッフの皆さんは、自チームの活動やプライベートの時間を削って、茨城県選手団として参加してくださっています。心から感謝の意を表します。

<成年男子>

初日、成年男子は、昨年の鹿児島国体で準優勝の強豪、東京都と1回戦で対戦。序盤リードされるも、粘り強い戦いで接戦に持ち込み、同点でハーフタイム。後半も一進一退の厳しい展開でしたが、4Q、2点ビハインド、絶体絶命の状況でのラストプレイでリバウンドボールを押し込み、同点に追いつきます。そして迎えた延長は、我慢強く戦ったご褒美をもらえたかのように、開始から一気に8点のランで完全な茨城ペース。劇的な逆転勝利となりました。

2日目、準決勝、神奈川県に大接戦の末に敗れて迎えたその日2ゲーム目となる3位決定戦の相手は、若く、体力に勝ると思われる大学生単独チームの栃木県。2試合目に学生相手は厳しい展開もありうるかという不安もなんのその。接戦にはなりましたが、要所で3Pシュートを次々と決めるなど、勝負どころを逃さない大人の集中力を発揮して会心の勝利。見事、3位での予選通過を勝ち取りました。茨城県成年男子は、「子供たちに見てもらいたい日本一頑張る大人たち」です。本大会での戦いにも期待しています。

<成年女子>

成年女子の初戦は山梨県。大学生単独チームの山梨県とは、昨年のブロック予選1回戦でも対戦し、その際は山梨県が勝利。結果として2位通過で鹿児島国体本大会に出場しベスト8。一昨年は3位決定戦で対戦し、茨城県が勝利。栃木国体本大会への出場を決めるなど、因縁浅からぬ相手です。

試合は、1Qでリードした本県チームに対し、2Qは、山梨県が大量31得点で一気にリードを広げます。3Q、茨城は、ベンチメンバーが踏ん張ってくらいついていき、2点差まで追い上げて最終4Qへ。4Qになると、若い山梨県チームが、エースシューターの連続3Pシュートで勢いづいて一気に得点を伸ばし、勝負を決められました。

成年女子チームは、昨年、今年と新たなメンバーが入ってきており、これからますますチームが成熟していくことが期待されます。来年以降の活躍を期待します。

<少年男子>

一昨年 of 栃木国体、昨年 of 鹿児島国体と、ブロック予選、本大会で負け知らず、国体2連覇中の少年男子が、今年も関東ブロックを制し、関東3連覇を達成。国体本大会3連覇に向けてスタートを切りました。

とは言え、今回の関東ブロック予選の3ゲームは、すべて接戦。初戦の千葉戦、決勝の東京戦は、序盤に大きくリードを許した状況からの逆転勝ち。準決勝の群馬戦は、前半リードしたものの、後半に追い上げられて終盤までもつれる展開でした。

U16であるが故の未完成な部分、それを見通したベンチワーク、試合を経験するうえでの選手の成長、等々、このカテゴリーならではの見どころでもあります。

昨年 of 鹿児島国体の決勝。この世代の日本代表選手を何人もそろえる新潟県チームに前半途中で20点リードされても、茨城県の選手、スタッフは全く動じずに、魂のこもったプレイでひたひたと追い上げ、追いつき、逆転して、最後には突き放して(!)、日本一になりました。

関東ブロック予選の勝ち方からすると、今年の少年男子も「日本一魂のこもったチーム」となり、本大会3連覇を目指してくれることと思います。期待しています。

<少年女子>

少年女子は、2日間各2試合、計4試合を戦う激戦の末、3位で本大会出場枠を獲得しました。

初日、1回戦で神奈川県との接戦を制した本県チームは、準決勝で千葉県と対戦。1Qで許したリードを2Qに何とか詰めたものの、3Q途中から千葉に乗られてしまい、敗戦を喫します。

2日目、敗者戦で勝ち上がってきた東京都との試合は、3Qまで一進一退の我慢比べのような展開でしたが、4Q途中から本県チームが一気に抜け出して快勝。3位決定戦の栃木戦では、その勢いをそのまま持ち込んだかのようにゲームの入りでリードし、追い上げを受けた場面もあったものの、多彩なディフェンスでかわして、勝利を勝ち取りました。

U16のため、経験も乏しく、うまくかみ合わない場面もありましたが、茨城県少年女子チームならではの、全員バスケット、多彩なディフェンスは今年も健在です。「日本一創意工夫に満ちた選抜チーム」となって本大会で活躍することを期待します。